



デモカーはメーカー標準の減衰力  
-50mmダウンで前後をセットアップ。  
ホイールはA/X-X7777m (F:19x  
8.0+45, R:19x8.0+40)で、これ  
にル・マンLM703 (FGR:215/  
95R19)をマッチングさせている。  
普通なら純正状態と比較して乗り  
心地の悪化が懸念されるものが、  
実際に走らせてみるとこれが驚く  
ほどコンフォートなのだ。

## TUNING PICK UP FILE

# しなやかなフットワークをモノにする トップブランドのこだわり

※ティエムシー

理想のフットワークメイクとは一体ど  
ういったモノだろう。踏ん張り感？ 安  
定性？ それともコンフォートな乗り心  
地？ その好みや感覚はまさに十人十色  
だが、ここに紹介するベストは、多く  
のユーザーが求める最大公約数のパラン  
スをカバリーしたという逸品だ。  
百聞は一見にしかず、まずは減衰力  
を一番ソフトに設定して早速走らせて  
みる。試乗車には19X8・0のホイール



車高調整の範囲はフロント  
が-15mm~-130mm、リアが  
-25mm~-80mmとなる。た  
だし前後とも最大値までロ  
ーダウンするには車体側の  
加工も必要となり、それぞ  
れ-50mm~-55mmダウンと  
いうのがメーカー推奨の値

特殊な形状を採用した大径  
ピストンロッド、最適ストロ  
ーク時に起きやすい不安定  
姿勢を抑制。前後40cm  
までオイル容量も十分に確保  
されているため、熱特性にも  
優れている。



ITEM DATA

●ベストチューンキット

¥189,750

キットには超軽量なヘクス  
ないスプリング(TT2000)も含  
まれる。オーター時には好  
みに合わせてソフト(F:4.0  
kg/mm, R:5.3kg/mm)、ミテ  
イアム(F:5.0kg/mm, 8.3kg  
/mm)、ハード(F:6.0kg/mm,  
R:8.0kg/mm)の3種類のバ  
ネレートから選ぶことができる  
のもうれしいポイント



写真は2WD用のモノだが、もちろん4WD用もラインアップされている。車体のボディ剛性やサスのストローク確保という面では、先代の60%系よりもさらに剛性が良くなったのだとか。ミニバン特有の揺れやらつき感が、高いレベルで軽減されているのもトピック